

No 38
28 Feb. 2013

日本・パプアニューギニア協会会報

ごらくちょう

Bird of Paradise

発行 NPO法人 日本・パプアニューギニア協会

発行日 平成25年2月28日

編集 NPO法人 日本・パプアニューギニア協会広報部 〒116-0013 東京都荒川区西日暮里 5-6-10 大橋ビル1階 コスモメディア(株)内 TEL03-5604-8611 FAX03-5604-8613

「協会メンバーの皆様、平成25年もよろしく」



日本・パプアニューギニア協会 会長

山下 勝男



平成25年も既に立春を迎えて、少しずつ春の気配が感じられる頃となりました。チェンジは自然界だけでなく、昨年末からわが国の政治の世界でも経済の世界でも、チェンジが感じられるこの頃であります。願わくば、このチェンジが、皆様の生活の向上、福祉の向上、そして、日本に対する世界の信頼感の向上に継続的に繋がることを祈っています。

本年は、協会といたしましても、このチェンジをチャンスとしてとらえ、メンバーの皆様と協力して日本とPNGの友好関係の一層の緊密化、メンバー相互の交流の活発化のため、諸活動をさらに活発化したいと考えております。幸いにも、昨年末以来メンバー有志のご尽力により、法人、個人会員の新規入会の勧誘活動が少しずつではありますが実を結びつつあり、1月現在、団体、個人を合わせて150件を越える会員数に達したことは喜ばしい限りであります。

日本とPNGとの関係は、政府レベルでは引き続き、経済協力を通じPNGの経済発展に寄与することが期待されており、また、民間レベルでもエ

ネルギー分野を中心に投資、貿易関係が順調に進展していると伺っております。協会は、人的にも資金的にもその能力は非常に限られておりますが、政府間やビジネス面での緊密な両国関係が国民レベルの相互理解へと進展し、永続する友好関係に発展するため、人的交流、草の根レベルの交流の分野で、側面的にお手伝いすることが使命であると認識しております。

本年の協会の最大のイベントは、オニールPNG首相の来日の機会に出来るだけ多くの会員の皆様と首相および同行する政府高官、ビジネスリーダー等との交流の場を設けることです。この会報がお手元に届く頃には、来日の日程、協会主催のレセプションの詳細も確定していることと思います。会員の皆様には今回の首相およびご一行の方々との交流に積極的に参加していただき、南太平洋諸国の中で最も親日的で、エネルギー資源国としても大切な友好国であるPNGという国を日本国民にも広く宣伝していただくことを願っています。

「戦友、遺族による戦没者遺骨のお迎え— 東部ニューギニアより95柱の遺骨が帰還—」

中山 郁 (当協会会員)

國學院大學教育開発推進機構准教授

栃木県護国神社



1月31日(木)、東京都千代田区の千鳥ヶ淵戦没者墓苑で「東部ニューギニア戦没者遺骨帰還団」の遺骨引き渡し式が行われました。今年度の遺骨収集によって、日本に送還された95柱の御遺骨は、午前10時30分、遺骨収集団員の胸に抱かれて戦没者墓苑に入場し、厚生労働省に引き渡されました。当日はニューギニア生還戦友や遺族など、多数の関係者が参列し、約70年振りに母国の土を踏んだ英霊方に献花し、慰霊の誠を捧げられました。これらの御遺骨は一旦、厚生労働省内に保管されたのち、千鳥ヶ淵戦没者墓苑に納められ、永遠の休息に就かれることとなります。

遺骨引き渡し式の後、12時から靖国神社境内の靖国会館において「東部ニューギニア戦友・遺族会」による新年会・報告慰労会が開催されました。同会会長の堀江正夫氏(第18軍元参謀、日本パプアニューギニア協会顧問)は冒頭の挨拶で、12万8千名にのぼる東部ニューギニア戦没者のうち、戦中からこれまで日本に送還された遺骨は5万柱に過ぎない。今後はサラワケットやフィニスティール山脈、

PNG・インドネシア国境などの、多くの戦没者を出した山岳地帯の遺骨調査が望まれ、これに相応しい体制の整備を国に働きかけてゆく必要性を強調されました。次いで、同会の遺骨収集担当者の横山、平山、森本の各氏から、モロベ、サラワケット、東セピックなど各地における収骨状況の報告が行われ、その後24年度の遺骨収集に参加された遺児の方々の紹介が行われました。このとき、遺児の方々が知らなかった、父君の所属部隊名や戦死の状況などが戦友各位から指摘され、改めて、戦友会の情報提供機能の重要性を感じた次第です。

東部ニューギニアの戦いは4年に満たないものの、遺骨収集は本格的な実施から60年以上を経て、なおも継続されています。いうなれば、生還戦友や遺族にとって、東部ニューギニア戦は、今も続いているといえましょう。この、未だに続く「ニューギニア戦」、すなわち、戦没者の遺骨の収集と、現地慰霊の活動に、より多くの方々が関心と支援を寄せられんことを願って止みません。



キノボリカンガルー *Tree Kangaroo*

賀集 イレーネ (当協会理事)



セスジキノボリカンガルー



アカキノボリカンガルー



ドリアキノボリカンガルー

私は野生動物が大好きです。ご存知のようにパプアニューギニアには珍しい動物が数多く生息しています。今回ご紹介したいのは、ぬいぐるみのようにかわいい有袋類「キノボリカンガルー」です。有袋類と言えばオーストラリアのカンガルーやコアラが有名ですが「キノボリカンガルー」は殆ど知られていません。しかしオーストラリアに2種類そしてニューギニア島に10種類以上もいます。

「キノボリカンガルー」は名前の通り木の上で生活しています。大きさはカンガルーより小さくて犬や猫と同じぐらいしかありません。また平均寿命もほぼ犬や猫と同じと考えられています。何万年ものあいだ猛獣などの天敵のいない環境で生きてきましたが、最近では人口の増加による自然破壊の影響で生息地が失われており絶滅が危惧されています。

私がポートモレスビーの動植物園で出会った3種類の

「キノボリカンガルー」をご紹介します。

「セスジキノボリカンガルー」(Dendrolagus goodfellowi)は名前の通り背中に黄金色の筋が二本あります。手足とお腹も黄金色で他の部分は赤茶色をしています。日本では横浜のズーラシアで見ることが出来ます。

「アカキノボリカンガルー」(Dendrolagus matschiei)は「セスジキノボリカンガルー」より大きく、鼻がピンク色で手足及びお腹と尾が黄金色をしています。パプアニューギニアのフオン半島にしか生息していないので「フオンキノボリカンガルー」とも言います。

「ドリアキノボリカンガルー」(Dendrolagus dorianus)は顔が丸くコアラに似ています。全身くすんだ茶色の毛で覆われています。

3種類ともとてもおとなしい性格で人懐っこかったです。

ピーター・オニール首相 来日記念レセプションのご案内

メールと書面にてご案内させていただきました通り、3月21日(木)にピーター・オニール首相の来日歓迎レセプションを開催する運びとなりました。

幅の広い日本PNG協会会員の皆様のご参加が、他国などで行われる歓迎会などとは大きく異なる場所だと思います。是非とも日本とPNGの強い経済的な関係に加え、長い歴史、文化的な繋がりなど皆様のご出席で大いに日本をアピールをしたいと思います。

会員の皆様のご参加を心からお待ちいたしております。

* 2013年3月21日(木)

18:00 (開場) 18:30 (開始)

* 虎ノ門 霞山会館

<http://www.kazankk.org/>

* 会費: 会員 5,000円

一般 10,000円 (どなたでも参加出来ます。)

日本・パプアニューギニア協会
法人会員紹介 第30回

「みなさん、こんにちは」

大豊建設
株式会社です。

〒104-8289 東京都中央区新川
1-24-4

TEL 03-3297-7008 FAX 03-3553-6935
<http://www.daih.co.jp>

当社は、戦後満州国の豊満ダム建設を支えた技術者が帰国して興した会社で、大豊建設の「大豊」の名前もダムに由来するものです。国内では中堅の総合建設会社として、ダム、港湾、道路、鉄道などのインフラ整備事業と建築事業に携わっています。また海外では、アメリカ、東南アジア、台湾及び大洋州諸国において、日本の援助工事を中心に港湾、道路、橋梁、学校などの建設に携わっています。特に、マダガスカル共和国では30年以上にわたり道路、橋梁工事、日本大使館、大規模港湾工事となったエホアラ港などを手がけ、台湾では高速鉄道新竹工区、台北地下鉄など40年来的実績を持っています。

パプアニューギニアでは、2009年11月より2011年12月までレイ近郊で、ODA無償工事であるマーカム橋緊急改修工事を施工しました。この工事は、2004年3月の洪水により被害を受けて、



マーカム橋改修工事

応急的に補修がなされた状態にある同国最長のマーカム橋(全長約560m)の一部改修と鋼製部の全体塗装工事です。パプアニューギニアでの施工は初めてであり、資機材・人員の確保及び生活のための基盤確保に苦労しました。

その後、2012年9月まで、PNG電力会社(PPL)発注の、ヨンキ水力発電所建設工事を施工しました。当工事場所は東ハイランド州ヨンキ村で、毎晩のように雨が降ります。コンクリートの品質を確保するためコンクリート打設が重要で、1回の打設量を昼の明るいうちに継続して打設できる量とし、打設時間を考慮して対応しました。レイの

町までは車で2時間30分かかり、材料の調達や資機材の修理などが大変でした。また病院があっても医療水準が低く、常に従業員の健康管理を第一として日々をこなしました。

パプアニューギニアの人々は笑顔が素敵で、非常に明るく、親切で、当地を引き上げるときには、涙を流して送ってくれました。一度心が通じ合うと深い情のある人々でした。これから益々この国の経済が発展し、人々の生活が豊かになっていくことと思いますが、この国の素晴らしい自然と、人々の深い愛情は、いつまでも大切にしてほしいと思います。



ヨンキ水力発電所
建設工事

事務局からのお知らせ

平成25年度 東部ニューギニア戦友遺族会主催の永代神楽祭が4月5日(金)に靖国神社にて執り行われますので、謹んでご案内申し上げます。

御遺族の方、ご戦友の方などなためにもご参加頂けます。集合は参集殿に13時です。

編集後記

3月21日の歓迎レセプションの準備で

バタバタとしておりますが、なんとか38号を発行することができました。

発行にご協力を頂きました皆様に感謝申し上げます。

レセプションでお会いできますことを楽しみにしております。

日本・パプアニューギニア協会 会員募集

本協会では随時会員を募集しております。お知り合いの方にぜひお声をかけて下さい。
会員数 2013年2月末 *法人会員/31 *個人会員/121

本協会は、日本とパプアニューギニアが友好関係を促進し相互理解を深めることを目的とし、文化、学術、芸術、スポーツ、観光等様々な活動を行っております。どうぞ本協会の活動をご理解下さり、ご協力の程をお願い申し上げます。

申し込み方法/郵便局の振込取扱票にてお申し込みください。
年会費/個人会員 5,000円 法人会員 50,000円 学生 1,000円 PNG人 1000円
会費受付/郵便振替口座をご利用ください。

口座記号/番号 00140-2-277582
加入者名/トクヒ ニホン パプアニューギニアキョウカイ
問い合わせ先/日本・パプアニューギニア協会 事務局
〒116-0013 東京都荒川区西日暮里5-6-10 大橋ビル1階 コスモメディア(株)内
電話 03-5604-8611 FAX 03-5604-8613 E-mail: info@jpng.or.jp
URL <http://www.jpng.or.jp>